



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東 札

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社  
コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 伊達 忠應

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,595	3.6	501	32.5	511	29.8	320	36.3
27年3月期第2四半期	8,299	1.6	378	△15.5	394	△15.0	235	△13.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 322百万円 (34.8%) 27年3月期第2四半期 238百万円 (△14.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	92.04	—
27年3月期第2四半期	59.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	9,345	6,241	66.8	1,793.78
27年3月期	9,164	5,961	65.0	1,713.21

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,241百万円 27年3月期 5,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,713	3.2	834	△4.0	835	△6.8	532	△7.1	153.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	4,216,000 株	27年3月期	4,216,000 株
28年3月期2Q	736,550 株	27年3月期	736,509 株
28年3月期2Q	3,479,462 株	27年3月期2Q	3,979,491 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結会計期間におけるわが国経済は、経済政策・金融緩和策を背景に、円安傾向の継続や株価の上昇、原油安の影響もあって企業収益は緩やかな回復基調が続いております。

一方で、円安による輸入価格の上昇や欧州金融不安に加え、中国をはじめとする新興国経済の景気減速による世界経済の不安定さから、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、公共工事や民間の設備投資が減少しているものの、観光は緩やかに増加し、個人消費は持ち直しの動きが見られ、雇用情勢も着実に改善しております。

医療業界におきましては、昨年行われた診療報酬改定と薬価改定の影響は納まったものの、社会保障・税の一体改革など変化する医療環境に対応するため、より一層経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高8,595百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益501百万円（同32.5%増）、経常利益511百万円（同29.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益320百万円（同36.3%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新規顧客の獲得により売上が増加したこと、教育・育成体制の拡充及び設備投資において、一部実施が繰延べられる等経費全般が抑えられたことから、売上高2,747百万円（同1.6%増）、セグメント利益152百万円（同37.3%増）と増収増益になりました。

## ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、店舗の閉鎖による影響がありましたが、新規出店に係る初期導入費用と教育・育成体制の拡充及び設備投資における一部実施の繰延べにより経費が抑えられたことに加え、前期に新規開局した店舗を含め事業全体の業績が順調に推移したことから、売上高5,369百万円（同4.6%増）、セグメント利益532百万円（同20.3%増）と増収増益になりました。

## ③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の賃貸・販売が前年同期を上回ったことから、売上高448百万円（同4.2%増）、セグメント損失2百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）と売上高、利益ともに前年同期を上回りました。

## ④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高31百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益17百万円（同6.8%増）になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,391百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円増加（前連結会計年度末比1.2%増）いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が275百万円、商品が17百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が359百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円増加（同3.7%増）いたしました。これは主に建物及び構築物が20百万円、差入保証金が11百万円それぞれ減少しましたが、建設仮勘定が117百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ180百万円増加（同2.0%増）いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少（同2.8%減）いたしました。これは主に未払法人税等が46百万円、賞与引当金が96百万円それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が235百万円減少したことによるものであります。固定負債は281百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少（同5.7%減）いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が5百万円、長期借入金金が12百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少（同3.1%減）いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産は6,241百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円増加（同4.7%増）いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益320百万円及び剰余金の配当41百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.8%となり、前連結会計年度末比1.8ポイント上回りました。

また、1株当たり純資産は1,793円78銭となり、前連結会計年度末比80円57銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益ともに順調に推移していることから、平成27年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,664,318	3,024,056
受取手形及び売掛金	2,939,782	2,664,577
商品及び製品	533,152	515,665
仕掛品	13,577	15,079
原材料及び貯蔵品	37,670	42,873
繰延税金資産	79,475	79,424
その他	84,256	83,897
貸倒引当金	△35,184	△34,152
流動資産合計	6,317,050	6,391,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,876,591	1,864,468
減価償却累計額	△1,224,053	△1,232,849
建物及び構築物(純額)	652,537	631,618
機械装置及び運搬具	41,791	42,121
減価償却累計額	△31,732	△33,238
機械装置及び運搬具(純額)	10,058	8,883
工具、器具及び備品	2,396,711	2,448,675
減価償却累計額	△2,009,723	△2,065,266
工具、器具及び備品(純額)	386,988	383,409
土地	932,817	945,852
リース資産	75,311	75,243
減価償却累計額	△35,162	△34,979
リース資産(純額)	40,149	40,264
建設仮勘定	—	117,180
有形固定資産合計	2,022,551	2,127,208
無形固定資産		
その他	121,915	120,601
無形固定資産合計	121,915	120,601
投資その他の資産		
投資有価証券	152,238	155,131
長期貸付金	13,187	10,677
長期前払費用	34,267	32,884
差入保証金	309,246	297,709
繰延税金資産	113,919	113,116
その他	103,497	118,596
貸倒引当金	△23,078	△21,941
投資その他の資産合計	703,278	706,173
固定資産合計	2,847,746	2,953,983
資産合計	9,164,796	9,345,405

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,382,233	2,146,895
短期借入金	25,352	24,020
リース債務	15,441	13,968
未払法人税等	151,763	198,543
未払金	70,432	81,993
賞与引当金	128,455	224,515
その他	131,677	132,840
流動負債合計	2,905,356	2,822,777
固定負債		
長期借入金	35,338	23,318
リース債務	28,189	30,118
繰延税金負債	746	799
役員退職慰労引当金	55,133	49,822
退職給付に係る負債	13,592	14,066
長期未払金	159,354	156,257
その他	5,974	6,884
固定負債合計	298,328	281,266
負債合計	3,203,684	3,104,043
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	4,435,013	4,713,515
自己株式	△504,568	△504,613
株主資本合計	5,929,065	6,207,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,045	33,840
その他の包括利益累計額合計	32,045	33,840
純資産合計	5,961,111	6,241,361
負債純資産合計	9,164,796	9,345,405

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,299,121	8,595,892
売上原価	5,782,686	5,960,948
売上総利益	2,516,435	2,634,943
販売費及び一般管理費	2,138,349	2,133,820
営業利益	378,085	501,123
営業外収益		
受取利息	791	667
受取配当金	4,455	4,505
受取賃貸料	17,450	14,874
受取保険料	1,578	—
その他	14,617	16,035
営業外収益合計	38,892	36,083
営業外費用		
支払利息	1,086	900
賃貸収入原価	19,758	19,884
その他	1,734	4,522
営業外費用合計	22,580	25,307
経常利益	394,398	511,898
特別利益		
固定資産売却益	0	296
特別利益合計	0	296
特別損失		
固定資産除却損	105	2,072
減損損失	—	4,878
リース解約損	—	1,529
特別損失合計	105	8,480
税金等調整前四半期純利益	394,293	503,714
法人税等	159,248	183,459
四半期純利益	235,044	320,255
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,044	320,255



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	235,044	320,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,913	1,794
その他の包括利益合計	3,913	1,794
四半期包括利益	238,958	322,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,958	322,049

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,703,995	5,133,191	430,389	8,267,576	31,544	8,299,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	365,010	365,010	944	365,954
計	2,703,995	5,133,191	795,400	8,632,586	32,488	8,665,075
セグメント利益又は損失 (△)	111,123	442,455	△5,717	547,862	16,304	564,166

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	547,862
「その他」の区分の利益	16,304
セグメント間取引消去	5,142
全社費用(注)	△191,224
四半期連結損益計算書の営業利益	378,085

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,747,076	5,369,108	448,423	8,564,607	31,284	8,595,892
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	314,676	314,676	684	315,360
計	2,747,076	5,369,108	763,100	8,879,284	31,968	8,911,253
セグメント利益又は損失 (△)	152,531	532,407	△2,842	682,096	17,411	699,507

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	682,096
「その他」の区分の利益	17,411
セグメント間取引消去	5,262
全社費用(注)	△203,647
四半期連結損益計算書の営業利益	501,123

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、応需病院の閉鎖に伴い閉店した土地建物の売却額が確定したことにより、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において4,878千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。